

附属図書館リニューアル!

附属図書館長からのメッセージ

図書館が新しくなりました。

改修を終えた附属図書館が、新しい時代に対応した図書館として4月に開館しました。みなさんには、大学生活の様々な場面で新しくなった図書館を活用していただきたいと思っています。

近年、グローバル化や情報化が進展する中で、社会が急激に変化しています。このような社会では、想定外の事態についても主体的に考え、問題を発見し、解決法を見い出すことが求められます。また、職業人として知識や技能を磨くため、一市民として心豊かな生活を送るために

も、生涯にわたって学び続けることが重要になります。これを実現するためには、大学での学習をおして、基本的な学習の方法と学習習慣を身につけることが必要です。

大学での学習が高校までと異なる点として、教室内の学習と教室外の学習によって単位を与えていることがあります。教室外の学習も授業時間です。事前の準備として資料の下調べをしたり、関連文献を読んで考えをまとめること、事後の復習として授業で学習した内容を確認したり、理解を深めるために更なる読書をしたり、思考したりすることが重要に

なるのです。これを個人で行うこともあれば、他の学生や教職員と一緒に行うこともあります。その学習の場として、図書館を大いに活用してください。

新しくなった附属図書館は、多様な学習の場面に対応できるフロア構成になっています。フロアによって機能が異なります。1階は、ラーニングコモンズというグループ学習のエリアです。コモンズとは共有空間を意味します。学生同士で相談しあったり、ディスカッションをしたりしながら学習することができます。机やいすは可動式です。必要な学習空間を自分たちでデザインしてください。多様な新聞を閲覧できる新聞コーナー、DVDなどを鑑賞できる視聴覚コーナーもあります。2階は、参考図書や学習用図書があるエリアです。コンピュータや研究用の個室を利用することもできます。3階は、静かに学習するエリアです。ノートパソコンの利用を禁止するなど、完全に静粛な学習空間となっています。

視聴覚資料、電子資料など多様な資料があります。情報探索で不明な点があれば、サービスカウンターで図書館員にたずねてください。図書館員はみなさんの情報探索を助ける職員です。いつでも気軽にたずねることが出来ます。図書館にあるさまざまな資源を活用して、必要な情報を効果的かつ効率的に探索してください。

大学時代に習得した図書館の使い方は、卒業後の生活で役立てることが出来ます。県立図書館、市立図書館などの公立図書館を効果的に活用し、職業人として、一市民としての充実した生活を送れるよう、大学生のうちにその基礎を身につけておいてください。新しくなった附属図書館がその基礎づくりの場となることを願っています。みなさんの来館をお待ちしています。



2F 参考図書



2F リフレッシュコーナー



1F PCコーナー

3F 貴重図書